

MIRAI 防火部材 タイカブラック®

耐火シート(メッシュ無)

品番

MTKB-S15

1枚:
154×64mm

認定シール: 認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

警告 「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
●配管は、火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定してください。
※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

注意 以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
●本体が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。
(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
●本体が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●本体を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
●作業場では火気を使用しないでください。
●作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。
(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)

施工・保管の注意 ●ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
●架橋ポリエチレン管、ポリブテン管、ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
●冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。

お願い ●工法の詳細が記載してある資料等を別途ご用意しております。
※弊社営業管理課または最寄の営業所にお問い合わせください。
※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。
資料ご請求先: 営業管理課 〒503-0295 大垣市外・輪之内町
TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282
ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/>

適合配管等(参考)	配管	呼び	配管	呼び
	PF管	28以下	楕円さや管	10以下
	CD管	36以下	被覆付配管(5mm)	20以下
	FEP管	30以下	被覆付配管(10mm)	16以下
	VE管	36以下	被覆付配管(ペア)	10以下
	さや管	36以下	VP、HT管	30以下

<ご注意>●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従ってください。



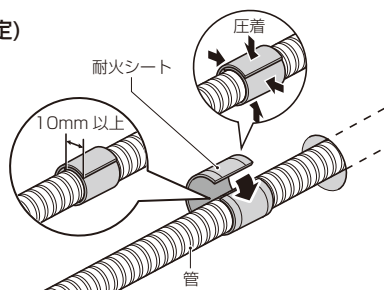
未来工業株式会社

1151P

《施工要領》 ○準備 ●開口部に配管等を施工します。

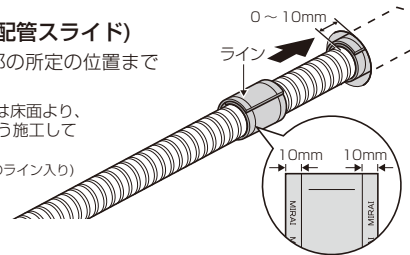
①耐火シート施工(固定)

耐火シートの剥離紙を剥がし、管に巻きつけ、シートがズレないように管に圧着固定します。
※シートは10mm以上重ねて巻いてください。
※アルミテープ、粘着テープで固定しても良い。



②耐火シート施工(配管スライド)

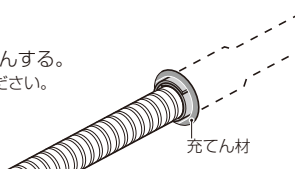
耐火シートを開口部の所定の位置までスライドさせます。
※耐火シートは壁面又は床面より、0～10mmとなるよう施工してください。
(耐火シートには10mmのライン入り)



③隙間の充てん

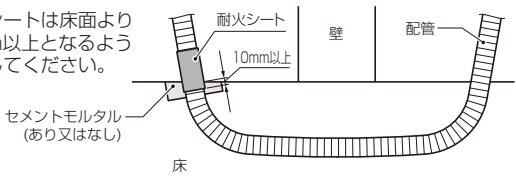
管と開口の隙間を充てん材で充てんする。
※管スライド後、早めに充てんしてください。

中空壁: シリコン系シーリング材 (JIS A 5758)
壁・床: セメントモルタル



■サブウェイ工法

※耐火シートは床面より10mm以上となるよう施工してください。



※耐火シートをコンクリートへ直接埋設される場合は、事前に耐火シートの露出予定部をテープで養生する等、位置ずれや剥がれ落ちにご注意ください。

MIRAI 防火部材 タイカブラック®

耐火シート(メッシュ無)

品番

MTKB-S18

1枚:
184×64mm

認定シール: 認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

警告 「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
●配管は、火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定してください。
※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

注意 以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
●本体が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。
(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
●本体が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●本体を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
●作業場では火気を使用しないでください。
●作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。
(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)

施工・保管の注意 ●ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
●架橋ポリエチレン管、ポリブテン管、ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
●冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。

お願い ●工法の詳細が記載してある資料等を別途ご用意しております。
※弊社営業管理課または最寄の営業所にお問い合わせください。
※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。
資料ご請求先: 営業管理課 〒503-0295 大垣市外・輪之内町
TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282
ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/>

適合配管等(参考)	配管	呼び	配管	呼び
	PF管	42以下	楕円さや管	10以下
	CD管	36以下	被覆付配管(5mm)	20以下
	FEP管	30以下	被覆付配管(10mm)	20以下
	VE管	36以下	被覆付配管(ペア)	10以下
	さや管	36以下	VP、HT管	40以下

<ご注意>●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従ってください。



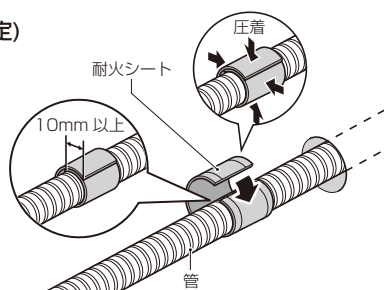
未来工業株式会社

1151P

《施工要領》 ○準備 ●開口部に配管等を施工します。

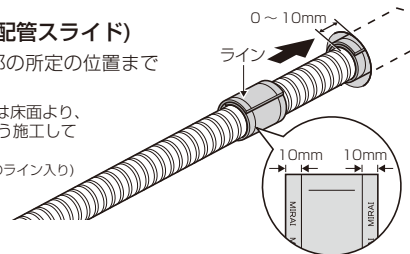
①耐火シート施工(固定)

耐火シートの剥離紙を剥がし、管に巻きつけ、シートがズレないように管に圧着固定します。
※シートは10mm以上重ねて巻いてください。
※アルミテープ、粘着テープで固定しても良い。



②耐火シート施工(配管スライド)

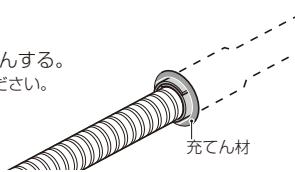
耐火シートを開口部の所定の位置までスライドさせます。
※耐火シートは壁面又は床面より、0～10mmとなるよう施工してください。
(耐火シートには10mmのライン入り)



③隙間の充てん

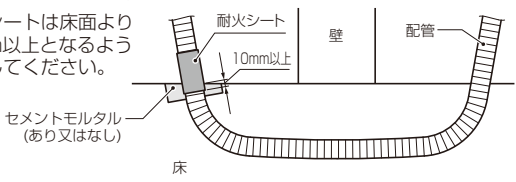
管と開口の隙間を充てん材で充てんする。
※管スライド後、早めに充てんしてください。

中空壁: シリコン系シーリング材 (JIS A 5758)
壁・床: セメントモルタル



■サブウェイ工法

※耐火シートは床面より10mm以上となるよう施工してください。



※耐火シートをコンクリートへ直接埋設される場合は、事前に耐火シートの露出予定部をテープで養生する等、位置ずれや剥がれ落ちにご注意ください。

MIRAI 防火部材 タイカブラック®

耐火シート(メッシュ付)

品番：MTKB-S15M (1枚：154×64mm)

認定シール：認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

警告 「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
●配管は、火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定してください。
※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

注意 以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
●本体が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。
(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
●本体が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●本体を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
●作業場では火気を使用しないでください。
●作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。
(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)

施工・保管の注意 ●ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
●架橋ポリエチレン管、ポリブテン管、ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
●冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。

お願い ●工法の詳細が記載してある資料等を別途ご用意しております。
※弊社営業管理課または最寄の営業所にお問い合わせください。
※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。
資料ご請求先：営業管理課 〒503-0295 大垣市外・輪之内町
TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282
ホームページ：http://www.mirai.co.jp/

適合配管等(参考)	配管	呼び	配管	呼び
	PF管	28以下	楕円さや管	10以下
	CD管	36以下	被覆付配管(5mm)	20以下
	FEP管	30以下	被覆付配管(10mm)	16以下
	VE管	36以下	被覆付配管(ペア)	10以下
	さや管	36以下	VP、HT管	30以下

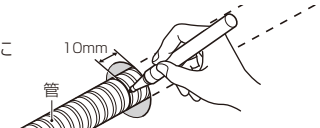
<ご注意>●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従ってください。

MIRAI 未来工業株式会社
1151P

《施工要領》 ○準備 ●開口部に配管等を施工します。

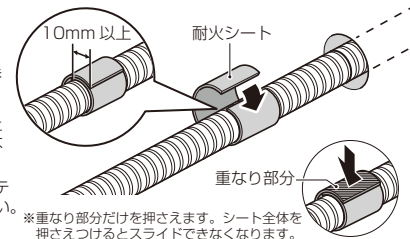
①耐火シート位置決め

管に開口部から10mmの位置に印を付けます。



②耐火シート施工(仮固定)

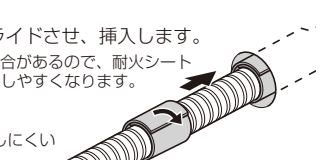
耐火シートを管に巻きつけます。
※シートは10mm以上重ねて巻き、剥がれないよう仮固定する。
※アルミテープ、粘着テープで固定しても良い。
※重なり部分だけを押さえます。シート全体を押さえつけないとスライドできなくなります。



③耐火シート施工(挿入)

耐火シートを印の位置までスライドさせ、挿入します。
※耐火シートが管に密着している場合があるので、耐火シートを1/4程度回転させるとスライドしやすくなります。

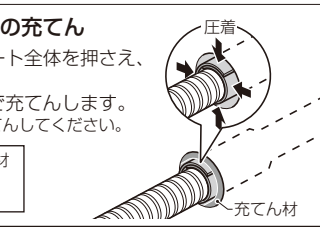
(ご注意)
●VE管、VP管、HT管はスライドしにくいので注意して施工してください。



④耐火シート施工(固定)隙間の充てん

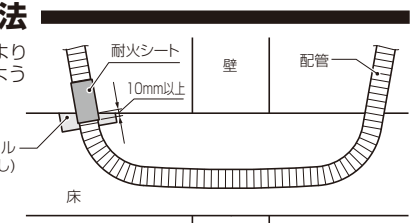
①開口部から出ている耐火シート全体を押さえ、管に圧着固定します。
②管と開口の隙間を充てん材で充てんします。
※耐火シート挿入後、早めに充てんしてください。

中空壁：シリコーン系シーリング材 (JIS A 5758)
壁・床：セメントモルタル



■サブウェイ工法

※耐火シートは床面より10mm以上となるよう施工してください。



セメントモルタル (あり又はなし)

床

※耐火シートをコンクリートへ直接埋設される場合は、事前に耐火シートの露出予定部をテープで養生する等、位置ずれや剥がれ落ちにご注意ください。

MIRAI 防火部材 タイカブラック®

耐火シート(メッシュ付)

品番：MTKB-S18M (1枚：184×64mm)

認定シール：認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

警告 「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
●配管は、火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定してください。
※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

注意 以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
●本体が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。
(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
●本体が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●本体を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
●作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
●作業場では火気を使用しないでください。
●作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。
(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)

施工・保管の注意 ●ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
●架橋ポリエチレン管、ポリブテン管、ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
●冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。

お願い ●工法の詳細が記載してある資料等を別途ご用意しております。
※弊社営業管理課または最寄の営業所にお問い合わせください。
※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。
資料ご請求先：営業管理課 〒503-0295 大垣市外・輪之内町
TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282
ホームページ：http://www.mirai.co.jp/

適合配管等(参考)	配管	呼び	配管	呼び
	PF管	42以下	楕円さや管	10以下
	CD管	36以下	被覆付配管(5mm)	20以下
	FEP管	30以下	被覆付配管(10mm)	20以下
	VE管	36以下	被覆付配管(ペア)	10以下
	さや管	36以下	VP、HT管	40以下

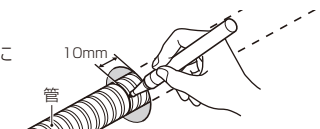
<ご注意>●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従ってください。

MIRAI 未来工業株式会社
1151P

《施工要領》 ○準備 ●開口部に配管等を施工します。

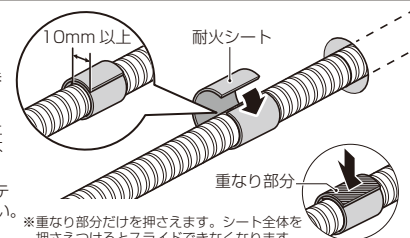
①耐火シート位置決め

管に開口部から10mmの位置に印を付けます。



②耐火シート施工(仮固定)

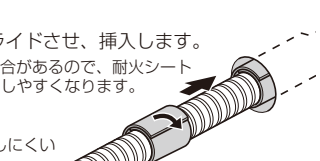
耐火シートを管に巻きつけます。
※シートは10mm以上重ねて巻き、剥がれないよう仮固定する。
※アルミテープ、粘着テープで固定しても良い。
※重なり部分だけを押さえます。シート全体を押さえつけないとスライドできなくなります。



③耐火シート施工(挿入)

耐火シートを印の位置までスライドさせ、挿入します。
※耐火シートが管に密着している場合があるので、耐火シートを1/4程度回転させるとスライドしやすくなります。

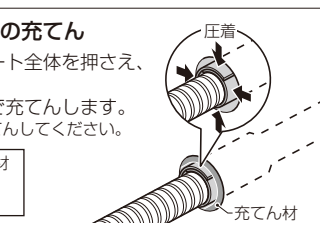
(ご注意)
●VE管、VP管、HT管はスライドしにくいので注意して施工してください。



④耐火シート施工(固定)隙間の充てん

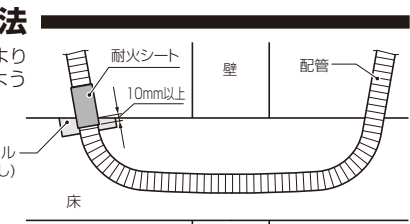
①開口部から出ている耐火シート全体を押さえ、管に圧着固定します。
②管と開口の隙間を充てん材で充てんします。
※耐火シート挿入後、早めに充てんしてください。

中空壁：シリコーン系シーリング材 (JIS A 5758)
壁・床：セメントモルタル



■サブウェイ工法

※耐火シートは床面より10mm以上となるよう施工してください。



セメントモルタル (あり又はなし)

床

※耐火シートをコンクリートへ直接埋設される場合は、事前に耐火シートの露出予定部をテープで養生する等、位置ずれや剥がれ落ちにご注意ください。